

国・県・町が連携し、  
内水浸水被害軽減を目指します。

# 小丸川宮越地区総合内水対策計画

令和2年3月

●国土交通省 宮崎河川国道事務所・宮崎県・高鍋町

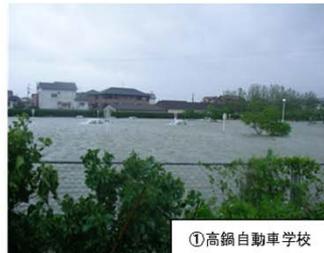
1

## 小丸川宮越地区の浸水被害の概要と課題

小丸川水系では、堤防整備による治水対策が進むなか、近年の課題として内水による浸水被害が多く発生しています。小丸川下流部の背後地は、堤内側の地盤高が洪水時の河川水位に比べて低い地形特性を有していることから、平成17年9月、平成30年9月洪水と立て続けに浸水しており、特に、平成17年9月洪水においては、広範囲で内水被害が発生し、中でも宮越地区では多くの家屋浸水被害が発生しています。

浸水戸数(宮越地区)	
床下浸水	146戸
床上浸水	24戸

凡 例	
<span style="background-color: cyan;">■</span>	浸水区域
<span style="background-color: yellow;">■</span>	床下浸水(住家)
<span style="background-color: red;">■</span>	床上浸水(住家)
<span style="background-color: green;">■</span>	非住家(事務所・工場・公共)



①高鍋自動車学校



②宮越樋管付近



③宮越樋管



図 平成17年9月出水 浸水区域図

### <内水氾濫について>

低平地に位置する宮越地区は、小丸川の外水位が堤内地盤高相当を上回ると同時に自然排水が困難となり、上流側からの水路網を通じた流入によって内水が発生しています。加えて、排水区域境界部の道路高が低いため、隣接する中州区域へも内水が流入し、結果、他地区の浸水被害拡大にも繋がっている状況にあります。

## 1) 浸水被害軽減対策について

## 【基本方針】

小丸川宮越地区の浸水被害軽減対策は当該地区で実施可能でかつ整備効果が見込める対策として、排水対策・流出抑制対策・浸水被害軽減対策の3つの分野に分けて洗い出し、施策の効果や実現性（実施時期）等を考慮し、採用施策を決定しました。

## 【浸水被害軽減の目標】

本計画における浸水被害軽減の目標は、10年に1回程度発生する内水被害に対し、床上浸水被害を解消するとともに、近年で最大の被害が発生した平成17年9月洪水に対しても、床上浸水被害の解消を目指します。

## 【主要な浸水被害軽減対策】

小丸川宮越地区における主要な浸水被害軽減対策について、概ね5年以内に対策を実施します。

ハード  
対策ソフト  
対策

対策内容	事業主体	実施する目標期間
<b>1. 排水対策</b>		
1) 小丸川への排水ポンプによる内水排除	国土交通省	概ね5年以内
<b>2. 流出抑制対策</b>		
1) 道路の嵩上げによる他地区からの流出抑制	高鍋町	概ね5年以内
<b>3. 浸水被害軽減対策</b>		
<b>1) 避難計画の充実</b>		
① 避難勧告、避難指示の発令基準の点検見直し	国土交通省・高鍋町	継続実施
② わかりやすい住民行動マニュアルの作成	高鍋町	継続実施
③ 災害時要援護者対策の検討	高鍋町	継続実施
④ 道路浸水等に伴う集落孤立時の避難対策の検討	高鍋町	概ね5年以内
<b>2) 防災情報の拡充</b>		
① わかりやすい防災情報の提供	国土交通省・宮崎県・高鍋町	継続実施
② 内水情報の提供・監視体制の確保	高鍋町	継続実施
③ 防災行政無線等の活用	高鍋町	概ね5年以内
④ ホットラインの強化	国土交通省・宮崎県・高鍋町	継続実施
<b>3) 地域防災力の向上</b>		
① 地域防災(マイハザード)マップの作成支援	国土交通省・宮崎県・高鍋町	概ね5年以内
② 浸水情報の見える化(川標)	国土交通省・宮崎県・高鍋町	概ね5年以内
③ 防災リーダーの育成	国土交通省・宮崎県・高鍋町	継続実施
④ 防災教育の推進	国土交通省・宮崎県・高鍋町	継続実施
<b>4) 水防救助体制の強化</b>		
① 地域住民との協力体制の構築	高鍋町	継続実施
② 企業などの協力体制の構築	高鍋町	継続実施
<b>5) 水害に対応したまちづくりの構築</b>		
① 土地利用規制(災害危険区域の設定等)に関する事項	高鍋町	概ね5年以内
② 家屋の耐水化、嵩上げ等住まい方の工夫の促進	高鍋町	継続実施

## 2) 主なハード対策について

### 宮越地区排水ポンプ増強

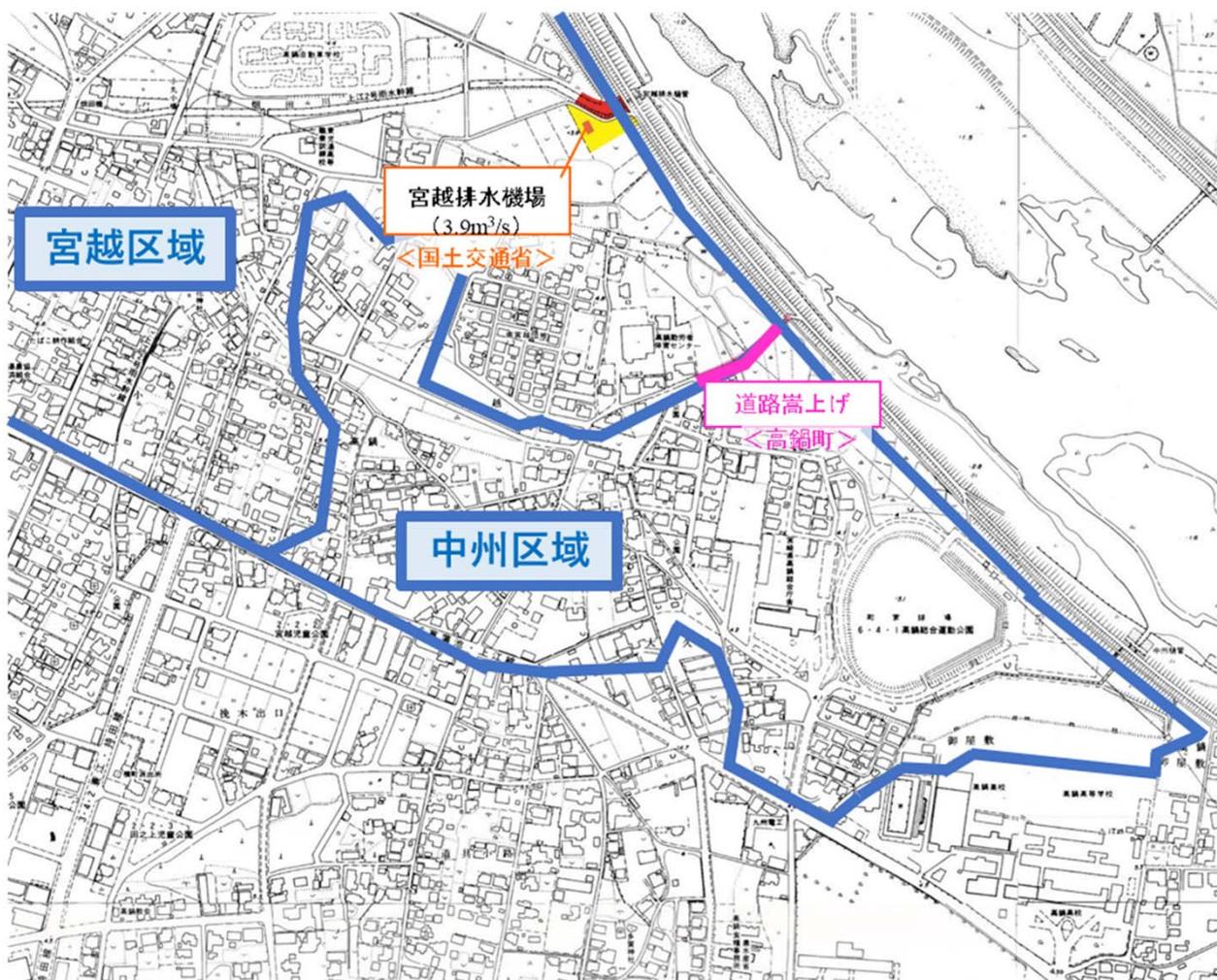
当該地区への雨水流入による家屋浸水被害が発生するため排水ポンプを設置します。設置箇所は過去の浸水実績や地区内の主要な河川状況を踏まえ、宮越樋管地点（小丸川右岸2k300付近）に設置します。

ポンプ施設は近年頻発する家屋の床上浸水被害等を概ね解消することを目標に、ポンプ排水量を増強します。（ $3.9\text{m}^3/\text{s}$ ）

### 町道嵩上げ

境界部にて隣接する道路高の嵩上げにより、宮越区域より中州区域への流出抑制対策を図ります。

## 小丸川宮越地区内水対策概念図



## 2) 主なソフト対策について

### 土地利用規制（災害危険区域の設定等）に関する事項

浸水被害が懸念される箇所において、条例による土地利用の規制をかける等、水害に強いまちづくりを推進します。

### 浸水情報の見える化（川標）

河川の水位状況や道路浸水などの情報等をリアルタイムで確認し、より実践的で安全な避難行動につながる取り組みを図ります。

### 防災リーダーの育成・防災教育の推進

防災リーダーの育成や防災教育を推進していきます。

#### ◆防災教育の推進



宮崎県立高鍋高校探究科学科フィールドワーク



防災班・排水ポンプ車の見学

「防災手帳 水害に強い地域づくり 国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所より」

## 3

### 効果的な浸水被害軽減・解消対策の実現に向けて

「小丸川宮越地区総合内水対策計画」に基づき、浸水被害の軽減を図るため、関係各機関はこの計画に基づいて進捗管理を行うとともに、実施過程においては随時確認を行い、効果的な浸水被害軽減を目指します。

#### ■お問い合わせ先

国土交通省宮崎河川国道事務所	調査第一課	TEL0985-24-8505
宮崎県 高鍋土木事務所	工務課	TEL0983-23-0834
高鍋町役場	建設管理課	TEL0983-26-2016